

第8回南九州市ふれあい球技大会

～みんなをつなげるスポーツの輪～



8月7日、知覧平和公園をメイン会場に、第8回市ふれあい球技大会が開催され、各校区・地区を代表する選手たちが、夏の暑さに負けない熱戦を繰り広げました。

《各競技入賞結果》

【ソフトボール】(参加21チーム)

優勝:松山 2位:知覧B 3位:宮脇、御領

【バレーボール】(参加21チーム)

優勝:川辺A 2位:霜出 3位:中福良、手蓑

【グラウンド・ゴルフ】(参加45チーム)

優勝:別府C 2位:知覧B 3位:中福良A



▲ソフトボール



▲バレーボール



▲グラウンド・ゴルフ

優勝チームの皆さん



▲松山チーム



▲川辺Aチーム



▲別府Cチーム

信号機が設置されました

～南薩縦貫道塗木交差点、知覧交差点～

「危ない」の声が聞こえ、子どもたちも横断に苦労していた知覧と塗木交差点に8月30日、待望の信号機が新設されました。多くの子どもたちが通学する交差点で、市民からも信号機設置の要望が数多く寄せられていました。29年4月頃には全線開通の予定で、交通量の増加が予想されます。事故のない安全な交差点となりますよう、皆さんも交通ルールを守り、通行しましょう。



▲信号機が設置され、交通事故防止が期待されます。

▼今回で29回目となる祭り会場には、地元から33の団体や個人が出店、多くの来場者との対応に追われ、大盛況でした。



熱い夏をゴッソイ満喫!

～第29回えいのゴッソイまつり～

8月21日、えいのゴッソイまつりが額娃運動公園で開催されました。牛のゴッソイ焼きの無料振る舞いは、大人気で長蛇の列ができるほどの盛況ぶり、夜の花火大会は、打ち上げ場所が会場から近いこともあり空から降ってくるような迫力満点の大花火に歓声が飛び交っていました。ゴッソイとは、鹿児島弁で「全部・全て」という意味、来場者は額娃の夏祭りをゴッソイ満喫していました。

森林環境教育の輪を広げるために ～学校の森・子どもサミット夏大会に参加～

8月4日、5日、霜出小学校の代表児童が宮城県仙台市で行われた「学校の森・子どもサミット」に参加し、学校林を子どもが活用しやすいように整備する取り組みや、間伐材を利用した「木工教室」「しいたけ駒打ち体験」「植樹体験」の活動を発表しました。参加した児童は「サミットで学んだことをもとに、これからは森林環境を有効に活用し、生きている森を大切にしたい」と話しました。



写真提供：霜出小学校

▲全国11校の小学校から児童が集まり、森林体験学習の発表と野山で森林体験活動を行い、交流を深めることができました。

▼市内で唯一、大会参加標準記録2分01秒を突破して出場した倉村さん。全国の中学生が夢見る舞台を、全力で駆け抜けました。



全国中学校体育大会出場 ～倉村大地さん（別府中学校）～

8月21日～24日、長野県松本市で開催された全日本中学校陸上競技選手権大会の男子800mに、別府中学校3年生の倉村大地さんが出場しました。予選13組中4組目のレースに挑み2着。惜しくも準決勝には届きませんでしたが、堂々の走りを披露し、「慣れない環境でのレースでしたが、たくさんの応援をもらい一生懸命走ることができた」と話しました。

▼大会では、園芸振興に尽力した生産者への功労者表彰、大会スローガン採択、記念講演会なども行われ、盛況のうちに終了しました。



南九州市園芸振興大会を初開催 ～南九州市園芸振興協議会が主催～

7月20日、知覧文化会館で「南九州市園芸振興大会」が初めて開催されました。当日は、市内の生産者、JA、行政関係者ら約100人が出席する中、前村千香男会長が「産地を維持拡大するには、生産者と関係機関が一体となった取り組みが必要。今大会を機に、消費者の求める食の安心・安全に応える産地づくりを目指そう」と結束を呼びかけました。

道路愛護優良団体表彰 伝達式 ～上別府自治会・手蓑自治会～

8月23日、道路愛護に顕著な功績のあった団体などをたたえる表彰の伝達式が南九州市役所で行われ、国土交通大臣表彰を上別府自治会が、県知事表彰を手蓑自治会が受賞されました。どちらの自治会とも高齢化・過疎化が進む中、昭和30年頃から長年にわたる自治会全体での道路の除草および清掃活動が認められたものです。



▲上別府自治会（知覧地域）の峰元逸郎自治会長および手蓑自治会（知覧地域の難波達男自治会長へ、南薩地域振興局長および市長から伝達されました。

夏 休み木工教室 in 南九州 ～親子で木工製品作りに挑戦～

木の素晴らしさを知ってもらおうと南九州市みどりの推進協議会が毎年開催している「夏休み木工教室 in 南九州」が、8月10日諏訪運動公園で開催されました。市内小・中学生と保護者ら約

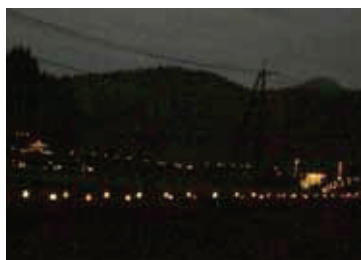


▲もの作りや木に触れることの少なくなった子どもたちですが、指導者や保護者と一緒に熱心に取り組みました。

250人が薩南工業高校生、県・かごしま森林組合・市職員の指導のもと、小物棚や花台を約4時間かけて作りました。

本 別府大久保の盆灯籠 ～紙灯籠の灯りで先祖の霊を迎え送る～

この盆灯籠は、過疎高齢化の地域に元気を取り戻したいと青壮年部が4年前から始め、高齢者の会「きらり会」も紙灯籠に砂を詰める作業に協力するなど地域を上げて取り組んでいます。お盆に帰省した人たちは、



▲自治会全体の道路に設置された600個の灯りの列と、灯籠で描かれた「大」「夢」の字が暗闇に浮かび上がる様子は幻想的でした。

来年も灯籠を見にぜひ帰省したいと、ほのかな灯籠の灯りが描き出す故郷の壮大で幻想的な夜の風景を楽しんでいました。

国 国際交流員と料理教室 ～南九州市国際交流協会～

9月3日、知覧校区公民館で、鹿児島県国際交流員のクエク・インヤン先生をお招きして、シンガポール料理教室を開催しました。先生と楽しく会話をしながら揚州炒飯、ABCスープ、ピサンゴレン（揚げバナナ）の料理を作った後は、文化紹介があり、参加者は、シンガポールを理解し、身近に感じる事ができました。



▲楽しくおいしい料理ができました。11月20日にも国際交流イベントを開催予定です。詳しくは、企画課まで。

両 市の子ども親善大使 参上！ ～南九州市・北九州市子ども交流事業～

8月2日～4日、両市の小・中学生60人が本市で交流を行い、シーホーウォーク体験や蒔絵体験、野外炊飯（カレー作り）やキャンプファイヤーをして楽しい時間を過ごしました。知覧特攻平和会館で語り部の講



▲2日目に行ったシーホーウォーク体験では、釜蓋神社から出発し、魚釣りや貝殻拾いをしながら交流を深めました。

話もあり、改めて平和の尊さも実感できました。友情の絆、ふるさとの良さの発見など得るものが多く、充実した3日間となりました。

ウ ミガメの赤ちゃん放流 ～颯娃町別府のイノコ浜で～



▲今回放流したのは、6月中旬に保護した卵で約2カ月間保護監視員の方々が大切に保護してふ化させた赤ちゃんガメです。

8月16日、夕方の満潮時刻に合わせて、颯娃西部地区ウミガメ保護監視員のグループがアカウミガメ45匹の放流を行いました。

みんなの手から離れたカメの赤ちゃんは、子どもたちの声援と共に一斉に海の方へ駆け出し、よちよち歩きで何度も波に押し戻されながらも無事に大海原へ旅立っていく事ができました。

全 全国の強者たちが集結！ ～全日本大学男女ソフトボール選手権～

8月26日～29日、知覧平和公園などで文部科学大臣杯第51回全日本大学〈男女〉ソフトボール選手権大会が開催されました。全国の地区大会を勝ち上がった79チームが集結し、4日間の熱戦を繰り上げました。全



▲開会式ではお茶むらいが登壇し、選手入場を先導しました。79チームが並んだ様子は素晴らしく圧倒されました。

ての試合において見応えがあり、観客も多く盛り上がり上がっていました。優勝は、男子の部環太平洋大学、女子の部園田学園女子大学でした。